

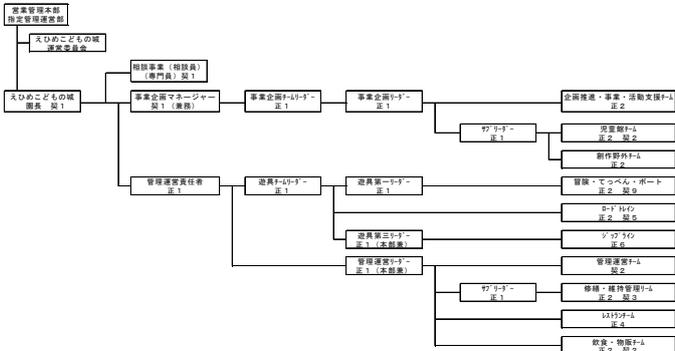
令和4年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和5年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	えひめこどもの城 (平成10年10月24日)	所在地 電話 HP	愛媛県松山市西野町乙108番地1 089-963-3300 http://www.i-kodomo.jp/		
県所管課	男女参画・子育て支援課	指定管理者の名称	伊予鉄総合企画株式会社		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金制	○	あり	なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	子どもたちが豊かな自然環境の中で、仲間同士や家族等とのふれあいを通じて、遊び体験をはじめ、自然体験、社会・文化体験等さまざまな体験活動を行うことにより、創造性や自主性、社会性、豊かな感性等を育むことができるとともに、県下の児童館等児童関連施設のセンター機能や指導者の養成等を行う研究・養成機能を持つ総合的な拠点施設として設置	施設の外観
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体験施設(31.2ha) <ul style="list-style-type: none"> ① こどものまちゾーン 大型児童館く1階:こどもタワー等、2階:多目的ホール等、3階:ワークショップ等、屋上:探索園 ② イベント広場ゾーン 芝生広場、くわがたのステージ、みずべのレストラン、ボートのりば、親水護岸、複層型木製アスレチック遊具等 ③ 創造の丘ゾーン 創作工房、ハーブ園、花の丘等 ④ 冒険の丘ゾーン 冒険ステーション、四輪バギー、てっぺんとりで、ポップスレー、てんとう虫のモルレル、ジップライン等 ⑤ ふれあいの森ゾーン 森のとりで、森の広場、野鳥の森等 ・その他(駐車場:松山側駐車場(乗用車395台)、砥部側駐車場(乗用車105台)) 	
指定管理者が行う業務	<ol style="list-style-type: none"> 事業の実施に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ① 体験機会提供業務 ② 遊具運行管理業務 ③ 活動支援業務 ④ 研究養成業務 ⑤ その他の業務 施設等の利用に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ① 施設等利用許可業務 ② 利用促進業務 施設等の維持管理に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ① 施設保守管理業務 ② 保守点検業務 ③ 建築物環境衛生管理業務 ④ 備品管理業務 ⑤ 植栽管理業務 ⑥ 清掃業務 ⑦ 保安警備業務 ⑧ 駐車場管理業務 ⑨ その他の業務 管理運営業務 <ul style="list-style-type: none"> ① 事業計画書等の作成 ② 事業報告書の作成 ③ 事業評価業務 ④ 関係機関との連絡調整 ⑤ 指定期間終了後の引継業務 ⑥ その他こどもの城の管理運営に必要な業務 	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

(1) 利用者数

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	365,250 人	336,530 人	191,380 人	201,290 人	310,330 人

(2) 収支状況

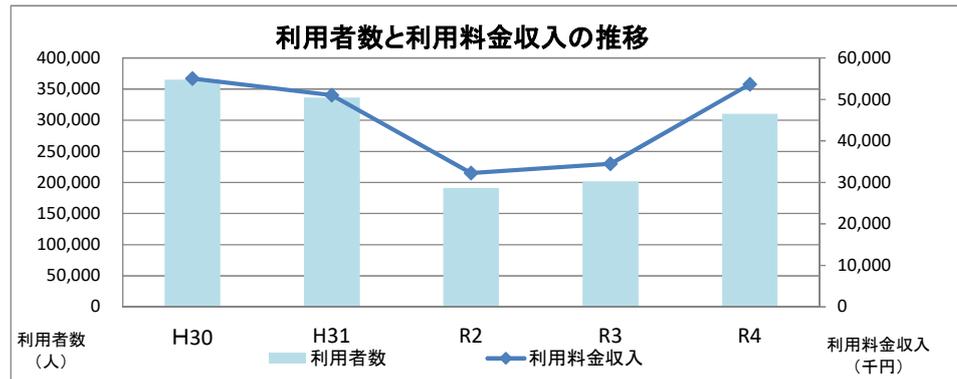
年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取 入 (A)	311,850 千円	307,855 千円	290,955 千円	412,433 千円	332,708 千円
委託料	206,484 千円	213,836 千円	208,141 千円	306,534 千円	223,309 千円
委託料(補正額)※	0 千円	0 千円	14,294 千円	29,018 千円	12,110 千円
利用料金収入	55,028 千円	51,082 千円	32,247 千円	34,467 千円	53,678 千円
その他収入	50,338 千円	42,937 千円	36,273 千円	42,414 千円	43,611 千円
支 出 (B)	322,150 千円	304,995 千円	291,133 千円	412,433 千円	332,708 千円
事業費	45,011 千円	31,302 千円	19,303 千円	28,204 千円	34,757 千円
維持管理費	97,692 千円	87,367 千円	76,978 千円	182,735 千円	108,992 千円
人件費	124,944 千円	132,525 千円	139,861 千円	148,202 千円	131,430 千円
その他支出	54,503 千円	53,801 千円	54,991 千円	53,292 千円	57,529 千円
取 入 (A) - 支 出 (B)	▲ 10,300 千円	2,860 千円	▲ 178 千円	0 千円	0 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による各種イベントの中止や、一部施設の利用休止、利用者数の制限
- ・物価高騰による事業費の増大



4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>8月下旬から9月中旬までBA.5医療危機宣言による夜間イベントの中止や施設貸出の休止、その他期間においても警戒レベル引き上げによるクッキングコーナー休止や各コーナーでの利用者数の制限などの影響があったものの、児童館入口への検温機器の設置、園内各所への手指消毒液の設置、イベントの分散実施や人数制限、健康チェック表を用いた参加者の健康状況把握など感染症対策を行い、屋外を中心としたイベント等を実施し安心して遊べる施設運営を心掛けた結果、GW、夏と冬の夜間イベントを中心に例年以上の来園者数に繋げることができた。</p> <p>ジップラインの利用者は10,178人となり、年間1万人を達成した。SNS発信や県外広報に努め、長期休暇中に県外利用者が多く利用するなど、利用者増に向けて良い傾向となっている。また、3月26日にオープンした複層型木製立体アスレチックはオープン以降順調に利用者数が伸びており、今後もジップライン及びピシロ・アドベンチャーを中心に幅広い年齢層、県外からの利用者を取り込みながら、とべもり+ (プラス) エリアが一体となり、引き続き利用者増につながるように運営を行っていく。</p> <p>「動くえひめこどもの城」ではここ3年間コロナ禍で赴くことができなかった県内各所へ遊びの支援を行ったり、11月には西日本豪雨で被災した吉田町への被災地支援事業イベントも実施し、大型児童館として県下全体へのサポート活動も徐々に再開している。</p> <p>また、2月よりみきゃんアプリの活用を進めており、キャッシュレス利用による利便性の向上や園内利用促進につながっており、今後も園全体での活用を進めていく。</p> <p>「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」へ、時代や生活の変化に対応しながら「子どもたちの遊び場の提供」をどうするか、児童館としてのあり方を継続的に意識しながら来園者本位のサービスに注力していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、各所への手指消毒や検温機器の設置、イベントの分散実施や人数制限を行い、適切な感性防止対策に努めた。</p> <p>また、学校の夏季長期休業期間中における閉園時間の1時間延長や全日開園、夏季及び冬季の夜間イベントの実施のほか、ジップライン・複層型木製アスレチック遊具などを核としたに効果的な情報発信により、幅広い層の利用者の増加に取り組んだ。引き続き利用者増加につながる取組みに努めていただきたい。</p>	<h1>A</h1>

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
引き続き防犯カメラの整備等を進め、利用者の安心安全をさらに守るとともに、園内各所のLED化を進めることで、光熱水道費の削減に取り組んでいる。老朽化の進んでいた非常用電池の更新も行い、緊急時に備えることができた。また日常の美観維持にも力を入れ、来園者からお褒めいただく声も増加している。桜や紅葉などの植込も行い、老朽化による寂れ感がでないよう工夫している。	開園から年月が経過し、施設の老朽化が進む中、状況に応じた修繕等を実施するとともに、日々の点検も適切に行っており、利用者が安心・安全に遊ぶことのできる場所の提供に努めている。今度も引き続き施設の適正な維持管理に取り組んでいただきたい。	A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

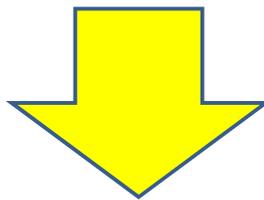
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>(利用者からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップなどのプログラムが楽しかった。 ・ジップラインが良かった。 ・園内どこも清掃が行き届いて快適に過ごせる。 ・大人も楽しめる。 <p>(利用者からの要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児コーナーのおもちゃを整えてほしい。 ・森の広場の遊具を使えるようにしてほしい。 <p>(意見を反映させるための取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内、屋外ともに経年劣化により使用できる遊具が減少しているが、応急処置を実施し、大型修繕までの損傷軽減を図っている。 ・職員応対クレームは即時に共有し、問題点の改善を行いサービス向上を図っている。 	複数の手段により、利用者の意見を収集しようと取り組むとともに、専門的知識を有する委員との意見交換も実施されている。引き続き利用者等に真摯に対応し、えひめこどもの城の魅力向上に努めていただきたい。	A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>コロナ禍中から作成を進めていた園内の様々なコンテンツやサービスをまとめた「団体利用案内」をリリースし、学校や旅行代理店等からの問い合わせが増加傾向にある。また、新たな団体向けコンテンツとして、SDGs学習コンテンツを開発し、モニターツアーが実施され好評であった。ハード・ソフトを含め今後の団体利用促進につなげていく。</p> <p>夏季や冬季など学校長期休暇にあわせ、こどもの城を含む県内のイベント情報をまとめたイベントガイドを発行し、県内の幼稚園・保育園・小中学校への配布を定期的に行っている。</p> <p>とべもりジップラインをテーマとした県外地域へのTVCM、広報誌での情報発信の他、松山市駅内他、県内複数箇所のデジタルサイネージ、ビジョン広告にて、施設のイベント案内等を掲載、また、Instagramを中心としたSNS広報にも注力しており、臨場感ある分かりやすい告知動画の投稿、更新回数を増やし、利用者・知名度アップに努めている。</p>	<p>マスコットキャラクターであるコシロちゃんを活用しながら、様々な媒体により、えひめこどもの城での活動情報を発信しており、幅広い層の利用者促進に努めている。</p> <p>自社の強みを活かして広告も行っており、今後も引き続き施設の周知に努めていただきたい。</p>	A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>平成18年度の指定管理者制度への移行以来、マスコットキャラクターなどによるPR、無料パスのキャンペーン、開園時間の延長、夜間イベントの実施など従来になかった取組みが好評を博し、制度導入直前の来園者数の落ち込みが改善されており、指定管理者制度導入の目的に合致した、一定の成果が上がっている。</p> <p>えひめこどもの城が、これから先も多くの幅広い年齢層の方々に親しまれる施設であり続けるために、施設及び遊具の点検や補修に必要な経費を確保するとともに、利用者のニーズに応じた効果的かつ柔軟な企画・運営について検証していきたい。</p>